

日本地下水学会 2007 年秋季講演会(長野大会)のプログラムが下記の通り決定しましたのでお知らせ致します。行事委員会ホームページ(http://homepage2.nifty.com/jagh_gyouji/)において最新情報を順次掲載いたしますので是非ご覧ください。

日本地下水学会 2007 年秋季講演会(長野大会)プログラム

会 期 : 2007 年 11 月 1 日(木)~3 日(土)

会 場 : 長野市若里市民文化ホール 〒380-0928 長野市若里 3-22-2

JR 長野駅東口よりタクシー約 10 分、または徒歩約 30 分

日 程 : 11 月 1 日(木) 13:00~17:15 一般講演
 18:00~20:00 懇親会 (ホテルメトロポリタン長野)
 11 月 2 日(金) 9:15~12:00 一般講演
 13:00~17:00 シンポジウム「環境新時代の地下水資源管理を考える」(仮)
 11 月 3 日(土) 8:30~18:00 現地見学会 ※事前登録制 (定員に達し次第、受付終了)

長野駅出発(8:30) → 川中島古戦場 → 片羽八幡水 → マンズワ

イン小諸工場 → 鬼押し出 {鬼押し出し園(520円)
 鬼押し温泉 (1,150円)} → 白糸の滝

→ 軽井沢駅(17:00 頃、下車可) → 長野駅 (18:00 頃)

※ 鬼押し出しでは、鬼押し出し園(¥520)、鬼押し温泉(¥1,150)のいずれか一方のコースを選択して下さい。

参加費 : 一般 5000 円(予稿集代含む) 学生 3000 円(予稿集代含む)

懇親会費 5000 円

現地見学会費 4,000 円

一般講演発表(72編)

		第一会場	第二会場	第三会場
11 月 1 日 (木)	13:00~ 14:45 (※1)	S1「環境保全」 (6編)	S3「涵養・循環 1」 (6編)	S5「水質」 (7編)
	15:00~ 17:15 (※2)	S2「広域地下水流動」 (7編)	S4「涵養・循環 2」 (9編)	S6「汚染 1」 (8編)
11 月 2 日 (金)	9:15~ 12:00 (※3)	S7「シミュレーション」 (10編) 休憩 15 分を含みます	S8「調査と設計」 (8編) 休憩 15 分を含みます	S9「汚染 2」 (10編) 休憩 15 分を含みます

※1 セッション 1、3 の終了時刻は 14:30 です。

※2 セッション 2 の終了時刻は 16:45、セッション 6 の終了時刻は 17:00 です。

※3 セッション 8 の終了時刻は 11:30 です。

○: 発表者

☆: 若手優秀講演賞選考対象発表者

セッション1「環境保全」(1日 13:00~14:30)

座 長: 菱谷智幸(ダイヤコンサルタント)

副座長: 坂本 大(国際航業)

- 0 1. 地下水保全に配慮した都市の環境計画・デザイン
○高山啓子(千葉科学大)
- 0 2. 都市水循環の適正化に資する地下水資源・管理のあり方について
☆蛭原雅之(建設技術研究所)、渡邊暁人(同)、登坂博行(東大・工)
- 0 3. ラムサール条約登録湿地・仏沼における水循環機構の解明 一序報
○網田和宏(秋田大・工資)、林 武司(秋田大・教育)、肥田 登(秋田大・名誉教授)
- 0 4. 松本盆地の地下水の現状と課題
☆山本 晃(八千代エンジニアリング)、伊藤善和(国土交通省)、谷保和則(同)、
猿田久雄(安曇野市)、高橋 努(八千代エンジニアリング)、濱里 学(同)、
妹尾嘉之(同)
- 0 6. 地下水・地表水間の水資源獲得競争と越境問題がもたらす地下水環境問題
○谷口真人(総合地球環境学研究所)、徳増 実(西条市役所)、
中野孝教(総合地球環境学研究所)
- 0 7. 異なる塩分濃度を持つラグーン存在下での海岸帯水層への塩水浸入に関する研究
☆伊庭崇博(信州大学大学院・工)、関 雄大(大仙市役所)、
藤縄克之(信州大・工)、豊田富晴(同)、渡辺紹裕(総合地球環境学研究所)

05: 発表取消

セッション 2「広域地下水流動」(1日 15:00~16:45)

座長:丸井敦尚(産総研)

副座長:田永友則(大成基礎設計)

08. 地下水流動解析モデルの地下水年代による検証

ー花崗岩が分布する沿岸域を対象としてー

○長谷川琢磨(電中研)、宮川公雄(同)、馬原保典(京大)、
朝川 誠(原子力発電環境整備機構)

09. 岐阜県東濃地域における地殻変動および気候変動を考慮した広域地下水流動解析

☆河口達也(応用地質)、三枝博光(JAEA)、丹羽正和(同)、島田耕史(同)、
安江健一(同)、黒澤英樹(同)、鎌滝孝信(応用地質)、登坂博行(東大・工)

10. 佐賀筑後平野の広域水循環ー地下水流動の3次元的な時空解析

○周 国云(西日本工大)、江崎哲郎(九州大)、蔡 奕(同・院)

11. 準3次元地下水流動解析を用いた海域への地下水流出量の推定

☆安元 純(九州大・院)、堤 敦(エスジー技術コンサルタント)、
甲木 守(九州大・院)、長谷川怜思(八千代エンジニアリング)、
広城吉成(九州大・院)、神野健二(同)

12. 地形・地質構造の変形を考慮した地下水流動解析の試み

○今井 久(ハザマ)、塩崎 功(同)、山下 亮(同)、
操上広志(日本原子力研究開発機構)、新里忠史(同)、前川恵輔(同)

14. 流れ関数モデルの適用に関する研究ートンネル掘削現場への適用ー

☆三家本史郎(国際航業)

15. 東濃地域を例とした地形の長期変動が塩分濃度の高い地下水挙動に与える影響の解析的推定

○平川芳明(ニュージェック)、小野 暁(同)、
尾上博則(日本原子力研究開発機構)、三枝博光(同)、岩月輝希(同)

13:発表取消

セッション3「涵養・循環 1」(1日 13:00~14:30)

座長:平田洋一(大成基礎設計)

副座長:小菅誠一(ドリコ)

16. 降雨時における浸潤前線の進行に関する一考察

☆東 紘士(大阪工大・院)、中村聡司(同)、日置和昭(大阪工業大学)、
長谷川 昌弘(同)、青木一男(同)

17. 水分量の経時変化に基づく不飽和浸透特性の簡易推定

☆中村聡司(大阪工大・院)、東 紘士(同)、日置和昭(大阪工大)、
長谷川 昌弘(同)、青木一男(同)

19. 低透水性の土の加圧型透水試験法に関する研究

西垣 誠(岡山大・院)、小松 満(岡山大・院)、☆春名充明(岡山大・院)

20. 大地への不飽和浸透と採熱 — 実験場設置と解析手法構築 —

○横山孝男(山形大・院)、安原 薫(山形大・院)

21. Suction Strength of Residual Granite Soil under High Degree of Saturation.

Makoto Nishigaki(岡山大・院)、☆Md. Abdul Alim(同)

22. Soil water-groundwater sustainability in desert environment using Capillary barriers

○Makoto NISHIGAKI(Okayama University)、John Apambilla AKUDAGO(同)、
Misturu KOMATSU(同)

18:発表取消

セッション4「涵養・循環 2」(1日 15:00~17:15)

座長: 嶋田 純(熊大・理)

副座長: 吉岡真弓(東大)

23. 地表面要素を考慮した浸透流解析手法の提案

西垣 誠(岡山大・院)、今井紀和(アイジオル)、☆江本佳秀(岡山大・院)

24. 地下水流域管理と人工涵養

○長瀬和雄(長瀬技術士研究所)

25. 降雨量・土壌含水率の観測に基づく地下水位シミュレーション

ー地震前兆的地下水位変化の解釈を目指してー

☆福岡秀樹(九州大・院)、福岡晃一郎(九州大)、江原幸雄(同)

26. Evaluation of subsurface thermal regime for reconstructions of climate change

and surface warming using borehole temperature.

○Rachmat Fajar Lubis (Chiba University)、Yasuo Sakura (千葉大・理)、
Robert Delinom (Research Centre for Geotechnology Indonesia Institute of
Science Indonesia)、Makoto Yamano (東京大学地震研究所海半球観測研究センター)、
Makoto Taniguchi (総合地球環境学研究所)

27. 秋田県六郷扇状地における地下水温の経年変動

○中谷 仁(日さく)、河戸貴善(同)、肥田 登(秋田大)

28. 堆積岩を対象とした間隙水圧長期観測データの解析的検討(その1)

ー地震時応答およびトレンド分析に関する検討ー

☆中寫誠門(鹿島建設)、瀬尾昭治(同)、戸井田 克(同)、
國丸貴紀(日本原子力研究開発機構)

29. 堆積岩を対象とした間隙水圧長期観測データの解析的検討(その2)

ー遺伝的アルゴリズムおよびニューラルネットワークを用いた検討ー

○瀬尾昭治(鹿島建設)、戸井田 克(同)、渡辺邦夫(埼玉大)、
ソヘル アマッド ライ(さいたま Package-D)、國丸貴紀(日本原子力研究開発機構)

30. 水準測量による広域地盤沈下調査結果の解釈について ー埼玉県の場合ー

佐藤邦明(埼玉大 名誉教授)、○小林 滋(建設技術研究所)、

61. CFCs 測定のための海底湧出地下水の採取法の開発と黒部沿岸での適用

○浅井和見(地球科学研究所)、茂木勝郎(東大・工)、徳永朋祥(東大・新領域)、
長谷川和宏(地球科学研究所)、浅井和由(地球科学研究所)

セッション5「水質」(1日 13:00~14:45)

座長:川端淳一(鹿島建設)

副座長:下村雅則(大成建設)

3 1. 大阪湾海底粘土の化学的特性について

☆中山貴之(大阪工大・院)、橋本 篤(関西地盤環境研究センター)、青木一男(大阪工大)

3 2. Kr 抽出装置を用いた水中の溶存 Kr のトレーサー試験

☆中野(太田)朋子(京大)、馬原保典(同)、百島則之(九州大)、
窪田卓見(京大)、嶋田 純(熊本大)、谷口真人(総合地球環境学研究所)

3 3. 圧縮抽水における圧力と水質の関係-主要アニオン、カチオンの挙動-

☆中田 弘太郎(電中研)、大山隆弘(同)、長谷川 琢磨(同)

3 4. 幌延における地下水の地球化学特性 -沖積層基底の砂礫層を対象にして-

☆井岡 聖一郎(幌延 RISE)、酒井利彰(同)、石島洋二(同)

3 5. 岐阜県海津市における地下水の主要化学成分と水素および酸素同位体比

○寺尾 宏(岐阜県環境管理技術センター)、丸井敦尚(産総研)

3 6. 深部鹹水の地下化学的性状と流動性に関する検討(2)-茂原の地下水

○馬原保典(京大)、中野朋子(同)、窪田卓見(同)、徳永朋祥(東大)、
天野 光(原子力研究開発機構)、鈴木崇史(同)、
中野孝教(総合地球環境学研究所)、安渡敦史(同)

3 7. Minimizing the leakage of contaminants from solid waste landfills into groundwater

Makoto NISHIGAKI (Okayama University)、○Larry Pax CHEGBELEH (同)

セッション6「汚染 1」(1日 15:00~17:00)

座長:寺尾 宏(岐阜県環境管理技術センター)

副座長:吉村雅仁(DOWA エコシステム)

38. 甲府盆地地下水の農薬濃度と地域性

○小林 浩(山梨県衛生公害研究所)、堀内雅人(同)、輿水達司(山梨県環境科学研究所)

39. 自然湿地におけるN₂Oガスフラックスについて

☆菅野 賢(千葉大・院)、唐 常源(同・園芸)、福本幸一郎(同・院)

41. 甲府盆地の地下水中ヒ素の起源

○輿水達司(山梨県環境科学研究所)、小林 浩(山梨県衛生公害研究所)

42. 自然由来の砒素による地下水汚染に関する研究

○青木陽士(清水建設)、守屋やす子(セイコーエプソン)、
宮沢清治(エプソンファシリティ・エンジニアリング)、荻上 宏(同)、
藤縄克之(信州大)

43. 沖永良部島における地下水硝酸性窒素濃度の現況と負荷源について

☆吉本周平(農村工学研究所)、土原健雄(同)、石田 聡(同)、今泉眞之(同)

44. 長野県豊丘村における地下水の硝酸性窒素汚染

☆富樫 聡(八千代エンジニアリング)、兼平進一(環境省地下水・地盤環境室)、
山本 晃(八千代エンジニアリング)、高橋 努(同)、才田 進(同)

45. Hydrogeology characteristics and pollution of surface water and groundwater
in the upper reaches of Huaihe River

☆李 発東(千葉大・院)、唐 常源(同・園芸)、張 依章(同・院)、
宋 献方(中国科学院地理・資源所)

46. アルバータ州オイルサンド鉱山の巨大テーリングズポンドからの汚染水浸透

○安田直樹(国際航業)、Jim Barker(University of Waterloo)、
Neil Thomson(同)

40:発表取消

セッション7「シミュレーション」(2日 9:15~12:00)

座長: 谷口真人(総合地球環境学研究所)

副座長: 高木一成(地盤環境エンジニアリング)

47. 連続式流向流速計の開発に向けた流体シミュレーション
○小林 薫(飛島建設)、松田浩朗(同)、松元和伸(同)、河野俊樹(同)、藤間律子(同)、金内昌直(レアックス)
48. 固相の溶解・沈殿と地層物性変化を伴う溶質輸送モデルの数理的・実験的研究
☆堤 有史(東大・院)、登坂博行(東大・工)
49. 特性曲線型有限要素法による非平衡吸着を伴う物質輸送現象の数値解析のスキームについて
☆江澤 静一郎(信州大・工)、藤縄克之(同)
50. 火山灰土壌における反応輸送シミュレーション
○中川 啓(鹿児島大・農)、初井和朗(同)
51. 飽和・不飽和・不均質地層中の地下水汚染解析におけるパラメータの考え方
☆高山智道(東大・院)、登坂博行(東大・工)
52. 地圏水・熱循環統合モデルの現象再現性に関する数値実験および室内実験について
○稲葉 薫(竹中工務店)、登坂博行(東大・工)、平井 卓(竹中土木)、吉岡真弓(東大・院)、茂木勝郎(同)
53. Development of A Three dimensional Transport Model of Seawater Intrusion
☆E. D. P. Perera (Kyushu University)、Kenji Jinno (同)、Yoshinari Hiroshiro (同)、Atsushi Tsutsumi (S.G Gijutsu Consultant)
54. バングラデシュ、Sonargaon 地域の地下水中のヒ素濃度分布に対する地下水流動と水理地質構造の影響 — 三次元浸透解析による推定—
○中屋眞司(信州大・工)、夏目治泰(同)、益田晴恵(大市大・理)、三田村 宗樹(同)、板井啓明(広島大・院)、Kazi Matin Ahmed(ダッカ大学・理)、Dipak Kumar Biswas(同)
55. 多孔体中での微生物輸送・吸脱着に対する二重間隙モデルの適用性
○井上 康(名古屋大・エトピア)、山川 哲(同・院)、Tien Hong Throung(同・難処理)、片山新太(同・エトピア)
56. 難透水性層が沿岸域の塩水・淡水挙動に与える影響
—宇土半島を対象とした数値解析による予察的検討—
○佐野明子(萩原ボーリング)、徳永朋祥(東大)、菱谷智幸(ダイヤコンサルタント)

セッション8「調査と設計」(2日 9:15~11:30)

座長:馬原保典(京大)

副座長:松山秀明(日鉄環境エンジニアリング)

57. 電気伝導度検層を用いた水みちの検出

○松岡清幸(物理計測)

58. 超音波反射・追尾方式流向流速計の性能検証 —土槽実験による孔内流速評価—

○戸井田 克(鹿島建設)、田中真弓(同)、瀬尾昭治(同)、中寫誠門(同)、
武政祐一(同)、太田雅子(同)、竹延千良(大成基礎設計)、平田洋一(同)

59. 原位置トレーサ試験の理論及び試験方法に関する最近の研究動向

西垣 誠(岡山大)、増本 清(島根大)、中川 啓(鹿児島大)、原田晋太郎(川崎地質)、
☆本島貴之(大成建設)

62. しらす地盤への極超微粒子注入材の注入による地盤改良工法に関する研究

西垣 誠(岡山大)、田邊泰子(東洋砕石工業)、○金沢智彦(日鐵セメント)

63. ディープウェル工法適用時の各井戸揚水流量決定方法の改良

○進士喜英(大成基礎設計)、松岡永憲(同)、性田 学(近畿基礎工事)、植田敏雄(同)

64. 地盤透水性の不均質分布を考慮した新しい井戸理論の提案

進士喜英(大成基礎設計)、○松岡永憲(同)、性田 学(近畿基礎工事)、植田敏雄(同)

65. 洪水時の人工涵養における簡易太陽熱蒸留器の適用性に関する研究

西垣 誠(岡山大・院)、小松 満(同)、☆熊丸耕志(岡山大・院)、Akudaogo John A.(同)

66. 塩水混じり帯水層の観測井戸設置に係る遮水材および遮水工法の開発と現場適用

○松山秀明(日鉄環境エンジニアリング)、人羅昌俊(同)、八記孝夫(同)、
吉永清貴(同)、豊福恒平(同)、村田正敏(同)

60:発表取消

セッション9「汚染 2」 (2日 9:15~12:00)

座長: 深田園子(地盤環境エンジニアリング)

副座長: 竹田 信(東芝)

67. Cr⁶⁺汚染地下水の擬似ランチャー型井戸による浄化
 ☆王 欣(山形大・院)、横山孝男(山形大・工)、大岩敏男(山形県環境科学研究センター)、
 安原 薫(山形大・工)、南館 有(日本地下水開発)
68. 蛍光分析装置を用いた土壌中の油分測定に関する研究
 菅野雄一(復建調査設計)、西垣 誠(岡山大)、☆西面志保(岡山大・院)
69. 不飽和帯の重金属汚染による地下水汚染発生リスクの推定
 ☆保高徹生(国際航業)、中村公人(京大・院)
70. 油分土壌汚染調査における物理探査法および
 ダイレクトプッシュ貫入プローブ計測の適用研究
 ○光畑裕司(産総研)、横田俊之(同)、内田利弘(同)、西脇淳子(同)、駒井 武(同)
71. 設置後9年が経過した透過性地下水浄化壁の鉄粉の性状
 ○中島 誠(国際航業)、根岸昌範(大成建設)
72. VOC汚染における安定同位体適用の可能性
 ☆斎藤健志(筑波大・院)、相田 健(同)、中島 誠(国際航業)、
 田瀬則雄(筑波大・生命環境)、辻村真貴(同)
73. 砂質地盤における残留DNAPLの溶出特性に関する研究
 ☆増岡健太郎(大成建設)、下村雅則(同)
74. 地下水浄化設計における注入量算出手法の検討
 ～原位置水理地質特性評価装置を用いて～
 ☆佐藤秀之(インターナショナル・サーボ・データー)、吉村雅仁(DOWAエコシステム)
75. Numerical simulation for predicting microbial arsenic transport in groundwater
 under reducing environment and a column study
 ☆Razzak Abdur (Kyushu University)、Jinno Kenji (同)、Halim M. Abdul (同)、
 Oda Keita (同)、Hiroshiro Yoshinari (同)
76. 不飽和土壌中におけるガスの移動現象に関する実験的研究
 ☆西崎聖史(信州大・院)、藤縄克之(信州大・工)、日比義彦(名城大・理工)、
 岡村和夫(清水建設)、田崎雅晴(同)

シンポジウム「環境新時代の地下水資源管理を考える」

会期：2007年11月2日(金) 13:00～17:00

会場：長野市若里市民文化ホール

目的：近年、異常気象が頻発し、全国で洪水や土砂災害により大きな被害が発生している。豪雨の対極にあるのが異常渇水であり、特に関東地方や西日本で時間給水や減圧給水を余儀なくされた平成6年の大渇水は記憶に新しい。このような異常渇水時においても安定的に供給可能な水資源が地下水資源であるが、近年の水田面積の減少や地下水利用の増加により、多くの地域で地下水位が低下し、湧水や井戸水の枯渇が発生している。また、その一方、大都市圏では地盤沈下発生への懸念から地下水採取が規制されており、地表散水によるヒートアイランド防止などで地下水資源が効力を発揮する可能性を秘めているにもかかわらず、地下水が持つ重要な機能が生かされていないのが現状である。地下水の汚染に関しては、水質汚濁防止法や土壌汚染対策法などの施行によりトリクロロエチレン等の化学物質による汚染は著しく改善されているものの、農村地域において広域的に発生している硝酸性窒素による地下水汚染などに対しては、未だ有効な改善策が見いだされていない。

とはいえ、富山県など一部の自治体では、休耕田に水張りを行い、余剰地表水を地下水として貯留するウォーターバンキングが実施されつつある。非灌漑期における水田の水張りや、コンクリート水路の土水路への変換など、ウォーターバンキング対応の手法にはさまざまな工夫の余地があり、地下水資源の強化にウォーターバンキングの今後の普及が期待される。

地球温暖化に伴う自然環境や社会情勢の変化により地下水環境の悪化が懸念されるが、一部の自治体で地下水諸問題を解決する方策が実施に移されるなど、地下水行政も新時代を迎えつつある。本シンポジウムでは、第一線の研究者および国・県の地下水行政担当者をパネリストに迎え、地下水中の水循環や物質・熱移動などに関する最新の研究成果を踏まえ、持続可能で社会に大きく貢献できる地下水管理のあり方を探る。

内容：

13:00-13:10 挨拶

日本地下水学会長・長野県知事

13:10-13:40 基調講演「世界と日本の水資源を巡る課題と展望」

総合地球環境学研究所教授：水文・水資源学副会長 渡辺紹裕

13:40-13:55 「健全な地下水の保全・利用に向けて」

国土交通省土地・水資源局水資源部水資源政策課長 西川 智

13:55-14:10 「地下水・地盤環境行政について」

環境省水・大気環境局土壌環境課地下水・地盤環境室長 藤塚哲朗

14:10-14:25 「熊本地域における行政境界を越えた地下水資源管理

—70万市民を支える地下水資源の持続的管理」

熊本大学大学院自然科学研究科教授 嶋田 純

14:25-14:40 「ウォーターバンキングによる地下水資源強化」

富山県生活環境文化環境科学センター所長 岩田助和

14:40-14:55 「長野県の水環境と地下水保全」

長野県生活環境部水環境課長 木村元一

15:10-17:00 パネル・ディスカッション

◆コーディネーター

藤縄克之(信州大学工学部社会開発工学科教授)

講演会・シンポジウム・懇親会会場のご案内

長野市若里市民文化ホール

(ビッグハット 長野市若里多目的スポーツアリーナ・長野市若里市民文化ホール)

〒380-0928 長野市若里 3-22-2

JR 長野駅東口より徒歩 25 分 タクシー:長野駅東口から 10 分

<http://www.nagano-cvb.or.jp/bighat/wakasato/riyou.html#14>

ホテルメトロポリタン長野

〒380-0824 長野市南石堂町 1346

JR 長野駅善光寺口隣接

<http://www.metro-n.co.jp/access.html>

案内図



■ 宿泊証明書ご提出のお願い

地下水学会では秋季講演会においてコンベンションビューロ補助を受けるため、学会参加者の皆様が宿泊された施設からの宿泊証明を必要としています。本プログラムに同封の宿泊証明書(下図)に必要事項をご記入の上、宿泊施設で捺印していただき、大会当日、受付にご提出くださいますようご協力をお願い致します。

宿 泊 証 明 書^{*)}

平成 年 月 日	
コンベンションの名称	2007 年日本地下水学会秋季大会およびシンポジウム
宿泊者氏名	
宿泊期間	平成 年 月 日 () から 平成 年 月 日 () まで
宿泊施設名	印

*) コンベンション開催助成用 (後日、宿泊の確認を行うことがあります)

なお、この証明を一括で集計するため、宿泊を予定されている方には、日本旅行様にご準備いただいたHPでの宿泊予約にご協力をお願いしています。開催中は観光シーズンで宿泊施設が混み合うことも予想されますので、日本旅行様が地下水学会用に確保していただいたお部屋を是非ご利用ください。

詳細なご案内は、日本旅行様の日本地下水学会 2007 年秋季講演会 専用HP

(<https://apollon.nta.co.jp/chika07/>) をご覧ください

受付締切 10月24日(水)

お問合せ: 日本旅行 長野支店 電話番号: 026-232-6152

上記 日本旅行様にご準備いただいたHPよりお申込みされた方は、同封の宿泊証明書を提出いただく必要はございません。

■ 懇親会・見学会 事前登録システムのご案内

秋季講演会では、懇親会および見学会の参加人数を事前に把握することを目的に事前登録システムを準備いたしました。お早めに登録いただきますようお願い致します。

見学会は交通機関の都合上、事前登録者数が定員に達した際に受付を終了致します。キャンセル待ちをご希望の方は、会期当日に受付にてお問い合わせください。

ご不明な点は行事委員会HP(http://homepage2.nifty.com/jagh_gyouji/)をご覧ください。

新たに登録いただく画面

登録内容を確認する画面

自動発行されるID番号と、任意にご記入いただく登録パスワードを必ずメモして下さい。登録内容を閲覧・変更する際、必要となります。

登録URL: http://homepage2.nifty.com/jagh_gyouji/07nagano_entry.html

閲覧・修正: http://homepage2.nifty.com/jagh_gyouji/07nagano.html

※ 行事委員会では皆様にご参加いただきやすい講演会を目指し運営致しております。しかし参加人数を事前に把握していないことから、懇親会での料理の多少や見学会でのバス内混雑などでご不便をおかけしている場合がございます。行事委員会ではこれら問題の解決に向け、上記システムの運用を試みております。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。